



学校だより

たくま

白鷹町立荒砥小学校 令和元年 7月25日

1学期の“元気”と“本気”は…

校長 菅原 透



4月に新年度が始まり、5月は令和がスタート…。そして本日、1学期終業式となりました。今年度経営のキーワードは「元気」と「本気」。子ども達とともに歩んだ73日間の1学期を振り返ります。

まずは「元気」。一つ目の観点は“登校”です。白鷹スタンダードにある“生活リズム”について、この度の学校評価アンケートでは、がんばって取り組んでくださっているご家庭が多くなりました。“早寝早起き朝ごはん”で、目覚めがよくなり、エネルギーをしっかりと蓄えたおかげで、160名の子ども達が皆出席できました。二つ目の観点は“あいさつ”です。毎朝行われた計画委員のあいさつ運動で、「おはようございます」は24日現在自己評価93点を記録するまでになりました。あいさつは元気のバロメーター。ご家庭でもお力添えいただいているからのことですね。心より感謝いたします。

もうひとつは「本気」。一つ目の観点は“努力”です。自分の限界に挑戦し、力を伸ばす…。先日の県陸上大会出場者はまさにそれを体現。まず男子80mハードル。見事予選を勝ち上がり、決勝進出！8位入賞を果たしました。すごい！！女子400mリレーは圧巻の記録の伸び。地区予選は61秒台でしたがなんと58

秒台に！予選通過はなりませんでしたが、昨年女子チーム記録を上回る大金星。すごい！！限られた学校での練習に加え、保護者の皆様による自主練習等の本気の下支えの賜物でもありました。

二つ目の観点は“自分達で”。先日行われたきょうだい学級交流では高学年が下学年のお世話をし、あったかいかかわりがたくさん見られました。体育委員会主催のドッジボール大会も大盛況。児童会による大好きな学校づくりが着実に進みました。子ども達のがんばりに大きな拍手を贈ります。

おまけにもう一つ…。校内の七夕飾りにすてきな願いごとを発見！「いっぱいお手伝いして、お家の方が楽になりますように」。思わず涙が出そうになりました。きっとお家の方からたくさん愛情を受けて、大好きな家族への温かな思いをしっかりと育むことができたのでしょう。

元気と本気で学力と体力を伸ばし、一生懸命生活する中で豊かな感性をも育んできた子ども達です。2学期のさらなる飛躍をお約束いたします。お家の皆様、地域の皆様、本校への温かなご支援、本当にありがとうございました。

